

『トンネルにお布団かけたい』

3歳児1月 いちご組



エピソード

朝から霜が降りていて、溶けた頃に園庭に出て遊び始めました。築山にあるトンネルに、ふもとからせっせと泥を運び、かけて固めている子ども達。何をしているのか聞いてみると、「トンネルが寒そうだからお布団をかけてあげているんだよ」と教えてくれました。なぜ築山の土ではなくて、遠い下から運んでいるのか聞いてみると、「こっちの土の方が固いんだよ。だから落ちてこないんだよ」と話していました。トンネルはあっという間にコンクリートが見えなくなりました。

トンネルの左右のところはすぐに崩れ落ちてしまい、うまく泥を固められず何度も挑戦していました。「大きいスコップ、やりにくくない?」と問いかけると、スコップをやめて手で泥を固めるようにしてみました。少しずつですが泥がトンネルにくつき、積み重ねていくことができました。「今日はこっち(トンネルの左側)ができたから、明日はあっち側(トンネルの右側)しようね」と、友達と話していました。

保育者の思い

- ・土や泥の固さの違いや扱いやすさの違いに気付いてほしいと思いました。
- ・シャベルだけでなく、スコップや手等、状況に応じた道具を選んで使ってほしいと思いました。
- ・友達と一緒につくることを楽しみ、明日も続きをして遊んでほしいと思いました。

子どもの育ちや学び

- ・冬の寒さに気付き、トンネルが寒そうに感じる事ができました。
- ・友達と一緒に力を合わせて、「布団をかけたい」という同じ目的をもって遊ぶ事ができました。
- ・土や泥の固さの違いに気付き、自分の思いが実現しやすい方を選んで遊ぶ事ができました。

家庭だったら・・・

- ・家の外ではどのようなものが寒そうに見えたり、暖かそうに見えたりするか、一緒に探してみるのも楽しそうですね。
- ・砂場や植木鉢の土等に触れる機会があれば、一緒に手で感触を味わい、握ってみたり山をつくってみたりするのもいいですね。